

第16・17回無担保社債の発行条件決定

第16回無担保社債は環境課題の解決に貢献する「グリーンボンド」として発行します

東急株式会社

当社は本日、第16・17回無担保社債の発行条件を決定しました。第16回無担保社債は「サステナブルファイナンス・フレームワーク」に基づき、環境課題の解決に貢献する事業の資金調達手段である「グリーンボンド」として発行します。発行条件の詳細は下記のとおりです。

社債の名称	東急株式会社第16回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)	東急株式会社第17回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)
発行総額	200億円	100億円
年限	10年	20年
各社債の金額	1億円 (機関投資家向け)	
利率	年1.781%	年2.477%
払込期日	2025年3月12日	
償還期日	2035年3月12日	2045年3月10日
担保	担保は付さない	
財務代理人	株式会社三井住友銀行	
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、野村證券株式会社、大和証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社を主幹事とする引受証券団	みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、野村證券株式会社、大和証券株式会社を主幹事とする引受証券団
取得格付	AA(株式会社日本格付研究所)、AA-(株式会社格付投資情報センター)	
外部評価 (第三者意見)	策定した「サステナブルファイナンス・フレームワーク」について、株式会社日本格付研究所(JCR)より、グリーンボンド原則2021等の原則との適合性に関する第三者意見および「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」の最上位である「SU1(F)」の評価を取得	-
手取り金の使途	鉄道事業の「クリーンな輸送(新型車両の導入等)および「気候変動対応(鉄道事業に関する自然災害対策)」に要した新規支出または既存支出のリファイナンスに2028年3月末までに充当予定	コマーシャル・ペーパーの償還資金に2025年3月末までに充当予定

【新型車両の導入・車両リニューアル】



大井町線に各駅停車用「6020系」の導入を進めるほか、目黒線所属車両をはじめとした、導入から20年を超える車両を中心にリニューアルを実施し、安全性や快適性の維持・向上を図ります。

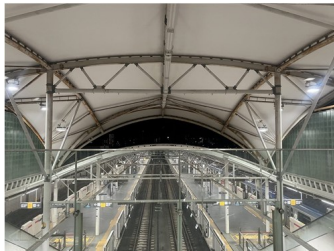
【鉄道の快適性・利便性向上】



脱炭素・循環型社会への貢献および地域に開かれた「サステナブルな地下駅」を目指し、田園都市線地下区間5駅（池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅）のリニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND^{※1}」を進めています。第1弾となる駒沢大学駅は、壁面タイルや床材などの既存材を最大限活かし、廃棄物削減に取り組むほか、空調設備改修や旅客トイレのリニューアル、エレベーター新設によるバリアフリーの一層の拡充を図ります。

第2弾となる桜新町駅のリニューアル工事は、2026年夏頃の竣工を予定しています。コンセプトは「WITH THE CHERRYBLOSSOMS」とし、人々の暮らしや商店街の活気に寄り添う桜並木のような空間デザインとしています。既存材の活用した計画に加え、空調機を大幅に増強・新設し、駅構内の快適性向上を目指します。

【鉄道事業に関わる安全投資】



社会の変化に対応し、鉄道の最重要事項である安全・安心な鉄道をこれまで以上に追求するため、踏切障害物検知装置の高度化や駅ホームにおける非常停止ボタンの増設のほか、自然災害に備えた浸水対策、耐震補強工事等を進めます。

<参考>「サステナブルファイナンス・フレームワーク」および第三者意見

■サステナブルファイナンス・フレームワーク(2024年5月公表)

URL: https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir/stock_bond/susb/main/00/teaserItems1/0113/linkList/0/link/sustainable_finance_1.pdf
ストラクチャリング・エージェント^{※2}は大和証券株式会社

■外部機関(JCR)による第三者意見の詳細

URL: https://www.jcr.co.jp/download/7eac9a0ffe6ebfeabb6db599a8ba285af0ef785bc97acdfa8b/24d0303_1.pdf

以 上

※1 「Green UNDER GROUND」の詳細はこちらをご覧ください <https://ii.tokyu.co.jp/grows/gug>

※2 フレームワークの策定等を通じて、サステナブルファイナンスの実行支援を行う者